

2019.08.25.sunday

向日市ふるさと創生推進部 企画広報課



「観光を仕事に」を目指して～ マネジメントコースがスタート!!

「むこスタ」ガイドスから約1か月、各コースが動き始めました。

まずは、イベントの企画・運営やお土産品の開発など、「観光を仕事に」することを考えるマネジメントコースがスタートしました。8月25日(日)14時か

ら開催したコース初回の講座には17人が参加し、「他地域で実践している事例から観光を地域で盛り上げるプロセスを学ぶ」と題した講演では、講師の船井さんからさまざまな地域での取り組みを紹介していただきました。



他地域で実践している事例から観光を地域で盛り上げる プロセスを学ぶ

株式会社船井アソシエイツ代表取締役の船井美紀さんは、さまざまな地域で観光施設をはじめとした公共施設の運営に携わり、地域の特色を活かしたイベントや商品開発に取り組まれています。今回の「むこスタ」では、他地域で実践している事例を5つご紹介していただきました。観光地化をたどった各地域での道のりを踏まえ、今後「観光を仕事にする」ために必要なことを考えていきます。

①佐久島(愛知県西尾市)

アート作品を島中に配置するといった取組を継続的に開催。その取組を絶えず発信し、飽きない仕組みが構築されている。インスタ映えする作品が多く、SNSなどによる効果で口コミが拡散し、観光客が増加。



②近江八幡市(滋賀県)

八幡堀をきれいにするための市民の運動がきっかけで景観形成につながり、きれいな水郷の町となり、観光地となっていった。その結果、映画のロケや有名洋菓子店の効果で観光客が増加。

③岐阜市(岐阜県)

長良川流域をキーにイベントやアクティビティを多数集め、「長良川温泉博覧会」という大きな枠組みでイベントを継続的に実施。市の認知度を高める一助となっている。

④里山十帖(新潟県越後湯沢)

「米一粒、全てがメディア(なにもかもが情報ツール)」という考えによる特筆すべき運営スタイルで四季や景色、地域の行事なども発信し、観光地されていない場所にもかかわらず、宿泊客が絶えない。



⑤蟹江町(愛知県)

蟹江町観光交流センターは小規模な建物ながら、PRブックや観光マップの作成、お土産品の開発などに取り組み、SNSで拡散され全国からの集客に成功している。



5つの事例から、さまざまな工夫で地域の課題に取り組んだ結果、それが観光客の増加に繋がっているということや、観光の盛り上がりを持続させるためには、観光客と地元住民の双方にメリットがあることが大切だと感じました。

船井さんからは「最初から『観光を仕事にする』を目指さなくてもいい」とお話がありました。みんなでアイデアを持ち寄ってイベントを実施したり、本業や特技を活かした取り組みなど、いろいろなスタイルの「観光の仕事」をみなさんと一

緒に考えていきたいと思います。

